

# 令和7年度 介護・医療連携推進会議 議事録 ②

日時 2026年 3月 26日(木) 15:00~16:00 場所 宇治徳洲会病院 南館5階 会議室1

【出席者】 (○:出席 △:途中出席 ▽:途中退席 ×:欠席 ☆:司会 ◎:書記)

▽ 末吉院長	○ 唄野 清美(宇治訪問看護)	○ 琵琶台自治会
× 齋藤統括	○ 友池 里恵(宇治徳介護センター)	○ 北宇治地域包括
○ 塩山課長(介護保険課)		○ 槇島地域包括
☆ 森山(介護保険課)		○ 宇治市役所
○ 池島(管理者・計画作成責任者)		○ 24時間サポートくらしのハーモニー
◎ 中川 清美(宇治訪問看護)		

## 【事業所名】

医療法人徳洲会 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 宇治徳洲会

## 【会議内容】

### I、院長挨拶

約3年半前に徳洲会全体の介護部門を統括する理事となりました末吉です。

最近の介護報酬改定の方角性を見ていると、サ高住等と定期巡回サービスの組み合わせは利用者(入居者)やサービス提供事業者にとっても良いように感じます。

今後も介護保険制度を注視しますので、皆様よろしくお願ひします。

### II、運営状況報告・事例報告(管理者 池島)

#### ・運営状況報告

新規・終了の状況 新規依頼元:宇治徳洲会介護センター居宅から約7割、他事業所から約3割

利用者状況 利用者数: 4月~2月の平均19名、前年度比 約1.3倍増加

男女比: 4月~2月 約3:7、前年度比 変化なし

平均介護度:4月~2月の平均2.8、前年度比 僅かながら上昇傾向

訪問件数状況 訪問件数: 4月~2月の延 15,764件、前年度比 約1.4倍増加

随時訪問: 4月~2月の延 238件、前年度比 大幅増加

訪問看護: 4月~1月の延 323件、前年度比 約1.3倍増加

年齢別状況 自宅: 平均年齢78歳 最低年齢54歳 訪問看護利用者約 33%

巨椋の郷: 平均年齢91歳 最高年齢99歳 訪問看護利用者約 50%

居住地別状況 今年度: 槇島町、小倉町、伊勢田、五ヶ庄、羽拍子、開町、広野町、天神台

#### ・事例紹介

施設から自宅へ戻られたケース

92歳、女性、要介護4、独居。右大腿骨骨折、右大腿骨頭壊死。

転倒後9ヶ月入院し、退院後3ヶ月老健入所。本人希望で在宅へ。車椅子使用。

子供達が近隣在住であるが、独居であり服薬、排泄等の支援のためサービス導入。

定期巡回 3回/日 訪問看護1回/週 デイサービス1回/週

ヘルパーが1日3回の訪問で、朝・昼・夕の排泄見守り、食事・服薬の準備。トイレ移動時の転倒がないよう見守りを行う。

ご本人は友人、孫と過ごす時間がもて、老健から自宅へ戻って生活できていることを喜んでおられる。

まとめ: 病院(医療治療)⇒ 老健(リハビリでの機能回復)⇒ 在宅(定期巡回介入で在宅生活の支援)

それぞれの役割が繋がり、切れ目のない支援が出来た。

これからも医療と介護の機能分担と連携が出来るよう幅広く情報収集し、ご利用者様ごとの在宅生活に

寄り添ったサービス提供を継続していきたい。
〈質疑応答〉
○ スタッフは何人いるのか。
→10名で定期巡回と訪問介護の兼務になる。
○ 随時訪問が前年度比で大幅に増加している。何か要因があるのか。
→臨時呼び出しの大変多いご利用者様がおり、都度対応していたため多くなったと思われる。
● 介護部森山より、年齢別状況でご自宅でも、巨椋の郷でも90歳以上の方が多く、この川西地域の年齢別人数を宇治市人口統計資料をもとに検討した結果、小倉町、宇治、広野町、槇島町の順に多く当事業所近隣に高齢の方が多くお住まいであることが影響しているかと推察。
100歳以上の方も多。定期巡回ご利用者22名中、11名が90歳以上である。
○ 昔は100歳以上の方は少なく祝品を送ったりしていたが、今はどうなのか。
→今も同様のことはやっており、記念品や祝状の贈呈をしている。
○ 自治会のほうではいかがか。
→約500世帯、50%に近い高齢化率である。民生員、自治会、福祉委員、喜老会等でネットワーク化をしている。敬老の日に高齢者の方に申し込んで頂いておまんじゅうを配り、データを地図に落とし込みどこに高齢者の方がいるか高い精度ではないが把握に努めている。
III、自己評価、外部評価(管理者 池島)
・ サービスの評価、点検
評価、点検を行い、介護・医療連携推進会議での報告と結果の公表義務について説明。
自己評価、外部評価について報告。
・ 構成員からのご意見
事前に構成員の皆様より頂いたご意見に対し、事業所として回答。
〈質疑応答〉
○ 宇治に定期巡回事業所が2カ所だけというのは、少ないのではないか。またどれくらい必要か。
→必要数については、介護保険事業に関するニーズ調査等を実施し保険事業計画の策定をしていく。
→宇治市第9期介護事業計画資料より、定期巡回サービス見込み量として令和8年度 852人。当事業所と24時間サポートらしいのハーモニーとで約600をまかなっている。見込み量の852から考えると、個人的にはもう1事業所あるといいのではないかと考えている。
○ 訪問介護と定期巡回の頻度的な境目はどのくらいなのか。
→定期巡回(要介護度1・.2の方だと)、日割りにすると訪問介護1回(30分)よりも単価的に下回ることもある。他の介護サービスの利用状況等も考え普通の訪問介護にするか、定期巡回にするか検討している。
・ 定期巡回を盛り上げていきたいとは思っているが、見えてきていない何かがあり他のサービスに流れてしまっているのか、役所として見ていかないといけないところである。
・ サ高住で、細かな用事で呼ばれた(5分程度で済む)場合、プランにもなく介護請求としてはつけにくい管理費サービス内とするか難しいところがある。
・ 他サ高住でも、生活支援サービス費と定期巡回との区分けが難しい。
介護度ごとに1日のサービスの上限を設けている(全国平均より割り出したもの)それを大幅に超える場合介護保険外サービス、オプションとなること説明させていただいている。
ヘルパーが入る場合は介護保険サービス、ヘルパーの補助をする職員が生活支援サービス、介護保険外

サービスに入るようにしている。

- ・ 最近、訪問介護事業ではリハビリテーションの需要が高まっているが、定期巡回を使うとすると単位数を多く使うのため、なかなか入れるのことも難しい。

### Ⅲ、構成員の方、他皆様からのご意見・ご質問

- 琵琶台自治会様

定期巡回の周知について、自治会も役員が毎年替わっているためネットワークを作った。こちらに周知を行ってもらおうほうが効率がよいのではないか。

- 槇島地域包括様

定期巡回の使い方は、難しい。その中で件数を伸ばしていっているのは頑張っていると思う。

- 宇治市役所様

事例ケースでの病院→老健→在宅の、この流れは地域連携の良さが出たケースでよかったと思う。

- 北宇治包括様

在宅での生活を少しでも長く続けられるよう力になりたい。地域包括にも80代後半～90代の相談が増えている。高齢化がすすんでいることを再認識した。

- 24時間サポートくらしのハーモニー様

定期巡回を知ってもらうためどうしたらいいか。外部居宅からの紹介は2～3割程度。

定期巡回のメリット、デメリットを周知していく必要があり、徳洲会とも連携して計画的に進めたい。

### Ⅳ、その他

次回開催予定 令和 8年 10月頃